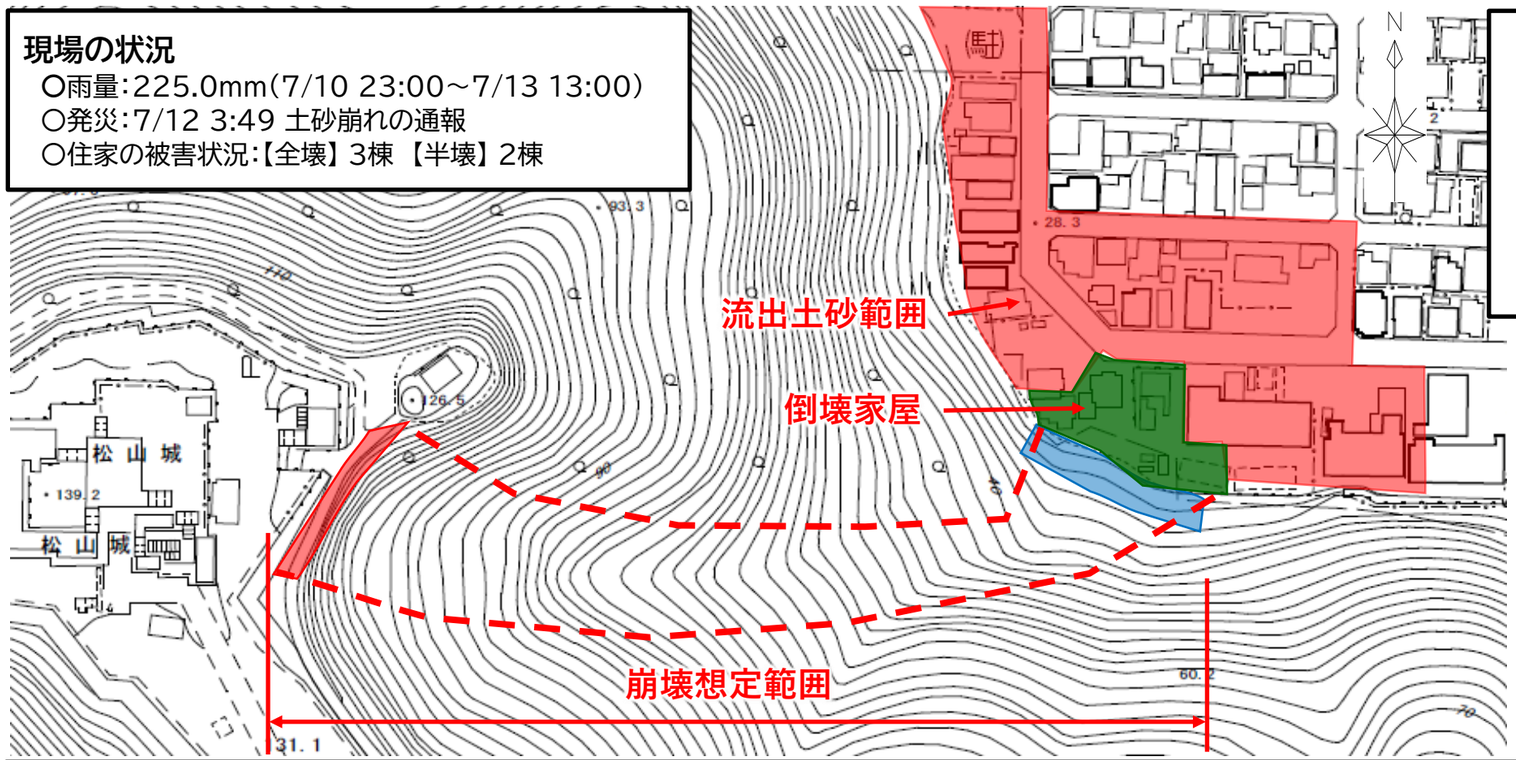
# 松山市緑町土砂災害の概要

**現場の状況**
- ○雨量：225.0mm（7/10 23:00～7/13 13:00）
- ○発災：7/12 3:49 土砂崩れの通報
- ○住家の被害状況：【全壊】3棟 【半壊】2棟




**復旧状況【令和8年5月29日時点】**
- ①流出土砂撤去（松山市：完了）
- ②倒壊家屋解体撤去（松山市：完了）
- ③応急復旧工事（愛媛県：大型土のう設置完了）
- ④法面応急復旧工事 （松山市：完了）
- ⑤急傾斜地崩壊防止施設復旧工事（愛媛県：完了）
- ⑥法面本復旧工事（松山市：完了）

**（参考）松山市緑町土砂災害対策技術検討委員会の協議概要**

【委員長】愛媛大学　森脇教授　（委員）学識経験者(愛大)、国交省、愛媛県、松山市

**第１回（令和６年７月２９日（月）９：３０～１２：００）**

関連資料の説明及び、委員や報道機関等が現場（緑町、城山）の被災状況を確認した。

（１）緊急車両用道路の工事内容や、松山城跡の雨水排水状況について

（２）土砂崩れした法面の変状記録について

**第２回（令和６年９月２日（月）１３：３０～１６：００）**

（１）斜面崩壊に対する緊急車両用道路の影響について検証すべき

（２）降雨による水の流れ、立木（位置、高さ）の状況、捨土の分布について更なる整理のこと

（３）今回の降雨規模で斜面崩壊が発生した理由や、複数回の崩壊が生じた事象について可能な限り整理すること

**第３回（令和６年１０月１１日（金）１４：００～１７：００）**

（１）発生メカニズムについて、３つのプロセス、①斜面変形⇒②土砂流出⇒③土砂流下を経て発生したものと推定

（２）素因・誘因について検討状況を確認

（３）緊急車両用道路の影響について

（４）次回では、土質試験や浸透流解析を踏まえて発生メカニズムをとりまとめる

**第４回（令和６年１２月２３日（月）１４：００～１６：２０）**

（１）土砂流出の発生機構と素因・誘因について

（２）本復旧対策について

（３）再発防止に向けた取組みについて

**第５回（令和７年１月３０日（木）１０：００～１１：００）**

（１）松山市緑町土砂災害対策技術検討委員会のまとめについて